



「ソピア（知恵）の旗」だより

ソピアとはギリシア語で「知恵」という意味であり、本校の校歌の歌詞にある言葉です。



2019・11月 NO. 6

大方高校一日体験入学



10月1日（火）、体験入学が行われました。今年度は21名の中学生が参加してくれました。

生徒会執行部と防災委員の取組発表を聞いた後、カツオたたきバーガーを試食して、校内の見学に移りました。

その後、高校生も参加して体験授業を行い、中学生たちはそれぞれの授業を楽しそうに受けていました。中学生の感想には、「高校生ともしっかりとコミュニケーションをとることができた」と書かれていました。

また、本年度は、部活動見学も併せて実施しました。中学生と高校生が一生涯懸命にプレーし汗を流す姿が見られ、有意義な時間を過ごせたと思います。



蕨岡中学校で出前授業



10月5日（土）、昨年度本校で作成した「大方高校オリジナル避難所運営ゲーム」（以下「HUG」）を蕨岡中学校の皆さんと実践しました。本校からは学校設定科目の「地域学」を受講している2年生、北澤くん・松田くん・濱岡くんの3名が参加し、本校の取組紹介をした後、参加者全員でHUGを実践しました。生徒の皆さんだけでなく、保護者の方、地域の方、先生方とも一緒にHUGを実践することで、より一層有意義な活動となりました。

HUGを初めて体験する中学生からは「避難してくる人のことを考えながら、カードの置き方を考えるのは難しかった。」「これからも今日学んだことを活かしていきたい」という感想をいただきました。昨年度から大方高校では繰り返しHUGを実践してきましたが、高校生にはない発想が中学生から飛び出したり、地域の大人の方が考える避難所の在り方について知ることもできたりと、今回もたくさんの収穫がありました。このように、お互いに学び合える交流の場をこれからも大切にしていきたいと思います。



若手議員とディスカッション



10月6日（日）、中村青年会議所主催の「若手議員とわたしたちのディスカッション」に1年生、有友さん・田所さんの2名が参加しました。他校から参加の高校生6名と県内の若手市町村議員、25歳までの一般の方、合わせて42名が7グループに分かれて、ディスカッションしました。

自己紹介の後、「赤ちゃんの虐待死問題の支援」、「動物基金への支援」などの、バーチャル寄付行為のディスカッションや、「eスポーツの推進に賛成か、反対か」、「あらゆる選挙議席の25%以上を女性とするクオータ制に賛成か、反対か」について議論し、模擬投票をしました。

本校の2人は、「難しかったけど勉強になった」、「より社会に関心がわいた」、「18歳になったら選挙に行く」などの感想を述べていました。



メキシコからの視察団が来校



10月8日（火）の3時間目に、メキシコのグレロ州の行政官である「ラファエル・ドゥランド・マヤ」さんと「ラファエル・バルドピノ・ソベラニス」さんが来校されました。同行者として、ブラジル人の「ルイサ・マリア・ウィレクラウ」さんが来校され、本校の地域と連携した防災の取組について学んでいられました。

地域学を専攻している生徒たちが、これまでの取組を紹介し、マヤさんとソベラニスさんからは、「オリジナルHUGはどのように展開したのか?」「大方高校における避難所の課題としてはどんなものがあるか?」などの質問がありました。生徒たちは、1つ1つの質問にしっかりと答えていました。

また、メキシコでは、行政や軍が防災対策をするものだと考えがあり、学校や地域が主体となって進める取組が弱いため、本校で行っているような取組を広げる必要があると感じていたようでした。

最後に、大方高校の生徒の印象として、「規律がしっかりしている!」、「多くのことを学び、しっかり取り組んでいる!」ことを感じたとおっしゃっていました。



協力祭（愛校作業）



体育祭を前に、10月11日（金）、5・6限目に生徒・保護者・教職員で愛校作業を行いました。

学校正門周辺から北舎北側、青春ロードまでの花壇の清掃や草引き、正面玄関前の植木のせん定や周辺の草刈り、側溝の清掃などに汗を流しました。側溝の清掃は、たまった土を取り除く重労働でしたが、みんなで協力して取り組みました。植込みの木々等もきれいにそろえられ、雑草も無くなりきれいになりました。体育祭に向けてよい環境整備ができました。



「2019 大方オリンピック～百戦錬磨～」



10月18日（金）、令和元年度体育祭が行われました。学年を越えた交流を目的として、今年度は初めて縦割りで組を分けました。

準備期間では、各団のパネル・応援団ともに学年を越えて話し合い、協力し活動していました。

当日はあいにくの天気で、限られた競技しか行うことができませんでしたが、各団がこれまでの練習の成果を発揮し、個性あふれる応援合戦や白熱した騎馬戦が行われました。

今年の優勝は白組でした。一人一人が全力を尽くし、成長することができた体育祭になったと思います。

宮崎県立門川高校生と防災交流



10月26日（土）、宮崎県より指導主事・教員等8名と宮崎県立門川高校の生徒5名が来校し、本校の生徒と交流を行いました。門川高校は高台に位置し、津波予想の範囲にありませんが海から近く、多くの生徒が沿岸の津波浸水予想区域に住んでいます。そのため防災教育を推進するうえで、本校の取組を参考にするとともに、交流を深めようと来校してくれました。



自己紹介後に、本校の生徒から防災教育の取組について紹介を行いました。来校された方々に、オリジナル HUG や炊き出し訓練などに大変興味を持っていただけました。

その後、両校の生徒10名でHUG体験を行いました。初めはスローペースの展開でしたが、だいに活発な意見交換ができるようになっていきました。

HUGの後には、生徒同士でお互いの学校の事や防災への取組について情報交換を行いました。門川高校の生徒は「大方高校の取り組みも参考に今後防災教育に取り組んでいきたい」と言っていました。



高知県高校生津波サミット



10月27日（日）、「高知県高校生津波サミット」が開催されました。高校生が自校の防災への取組を発表し、お互いに質問や

意見の交換を行いました。

取組紹介では、本校が取り組んだ「オリジナル HUG」や「にげトレ」について、他校の皆さんが関心を持ってくださいました。また、本校にはない他校の取組を知り、たいへん良い刺激をもらうことができました。

サミットでは、最後に各校から防災活動に対する決意表明が行われ、本校は「ふるさとの人と未来を守るために、私たちは行動します！」と宣言しました。宣言通り、これからも地域の方々と協力し、活動していきたいと思ひます。

